ミキサー

CSM 14, CSM 28

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

2015年3月版

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

■ 必ずAC100V（50Hz/60Hz）の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。

■ 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源コードは、他の機器には使用しないでください。

■ 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。

■ 機器の上に水の入った容器や金属片などを置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると火災や感電の原因となります。

■ 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源コードを外してから行ってください。感電の原因となります。

■ 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■ 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。

■ 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異状が起きたときは、ただちに電源コードを外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、全てのねじをしっかりと固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。

■ 以下のような場所には設置しないでください。火災や故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所
- 極度の低温または高温の場所
- 湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動の多い場所
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所

■ 通気性の良い場所に設置し、機器の通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■ 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外したうえで行ってください。けがや故障の原因となります。

■ 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。

■ 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■ 長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、電源コードを外してください。火災や感電、故障の原因となります。

目 次

安全上のご注意 ……P.02

目次 ……P.03

主な特徴 ……P.04

梱包内容の確認 ……P.04

各部の名称と機能

前面パネル ……P.05

背面パネル(CSM 14) ……P.06

背面パネル(CSM 28) ……P.08

設置 ……P.11

セットアップ ……P.12

トラブルシューティング ……P.14

ブロックダイアグラム ……P.15

仕様 ……P.16

主な特徴

CSM 14、CSM 28は、店舗や作業スペースなどでのSRに必要な全ての機能を、コンパクトな筐体に収めた設備用ミキサーです。様々な機器を直接接続できるうえ、追加の機器も最小限に抑えられるので、システムをシンプルに構築できます。操作も簡単で、機器を扱い慣れていないスタッフでも高品位なSRを実現可能です。

■ CSM 14は4ch、CSM 28は8chのミキサー機能を搭載。入力には、信号レベルの切り替えや27Vファンタム電源の供給が可能なユーロブロックのマイク/ライン入力端子と、CDプレイヤーなどを直接接続できるRCAのライン入力端子を装備しました。

■ CSM 14は1系統、CSM 28は2系統の出力を搭載。出力ごとに高域/低域のトーンコントロール機能を備えており、外部機器を使用することなく音質が調整できます。また、パワーアンプとスピーカーをハイ·インピーダンスで接続する際のスピーカー·トランスの飽和を防ぐハイパスフィルターも装備しました。

■ 実際の運用で使用する機能のみを前面パネルに配置し、誤操作を防ぎます。オプションのリモートコントローラーを使えば、離れた場所から出力音量の操作も可能です。

■ 優先音源に設定されているチャンネルに信号を入力すると、その他の信号の音量が小さくなり、終了するとスムーズに元の音量に戻るダッキング機能を装備。外部接点で優先音源以外の信号のミュートも可能です。CSM 14では1系統、CSM 28では2系統の信号を優先音源に設定できます。

■ レベルコントロールつまみの周囲は、信号を検知して緑色に点灯。出力のつまみは、信号のクリップ時には赤く点灯します。つまみの周囲全体が鮮やかに光るため、暗い場所でも信号の状態を一目で確認できます。

■ 電源ON/OFF時のポップ音を防止するソフトミュート機能を搭載しています。

■ ラックマウント金具が付属しており、1台のCSMをEIA 1Uに設置できるのはもちろん、CSM 14を横に連結して設置もできます。

梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

CSM 14

■ 本体
■ 3ピン·ユーロブロックコネクター×4
■ 5ピン·ユーロブロックコネクター
■ フロントアングルブラケット
■ ロングアングルブラケット
■ フラットブラケット
■ 金具固定ねじ×10
■ ラックマウントねじ×5
■ ゴム足×4（1シート）
■ 電源コード
■ 和文取扱説明書
■ 保証書

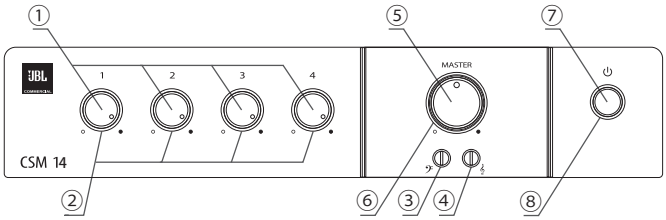
CSM 28

■ 本体
■ 3ピン·ユーロブロックコネクター×8
■ 5ピン·ユーロブロックコネクター×2
■ フロントアングルブラケット×2
■ 金具固定ねじ×8
■ ラックマウントねじ×5
■ ゴム足×4（1シート）
■ 電源コード
■ 和文取扱説明書
■ 保証書

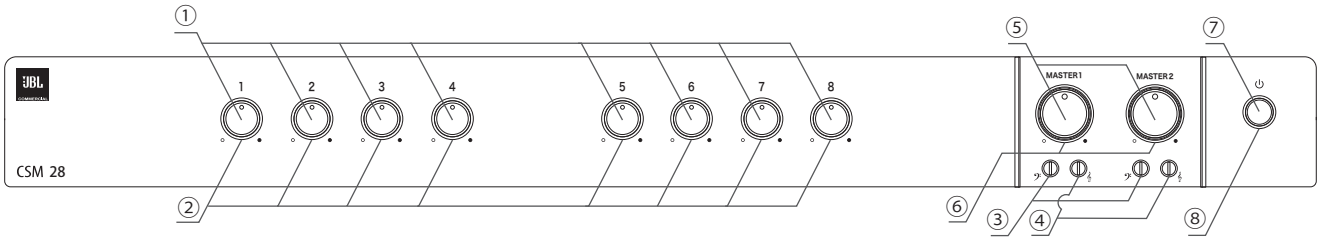
各部の名称と機能

前面パネル

CSM 14



CSM 28



①入力レベル調整つまみ

チャンネルの入力レベルを調整します。

備考 • CSM 28の工場出荷時、チャンネル1～4の信号はライン1出力端子からのみ、チャンネル5～8の信号はライン2出力端子からのみ出力されます。他の出力にルーティングしたい場合は、背面パネルのDIPスイッチで設定を行ってください。

②入力インジケーター

チャンネルへの入力信号を検知し、入力レベル調整つまみの周囲全体が緑色に点灯します。

③低域トーン調整半固定ロータリースイッチ

ライン出力端子に送る信号の低域のトーンを調整します。

備考 • 誤操作防止のため、スイッチは奥まった場所に取り付けられています。小型のマイナスドライバーを使って回転させてください。

④高域トーン調整半固定ロータリースイッチ

ライン出力端子に送る信号の高域のトーンを調整します。

備考 • 誤操作防止のため、スイッチは奥まった場所に取り付けられています。小型のマイナスドライバーを使って回転させてください。

⑤出力レベル調整つまみ

ライン出力端子に送る信号の出力レベルを調整します。

⑥出力インジケーター

ライン出力端子への出力信号を検知し、出力レベル調整つまみの周囲全体が緑色に点灯します。赤く点灯した場合は、信号がクリップしているので入力レベル調整つまみか出力レベル調整つまみを下げてください。

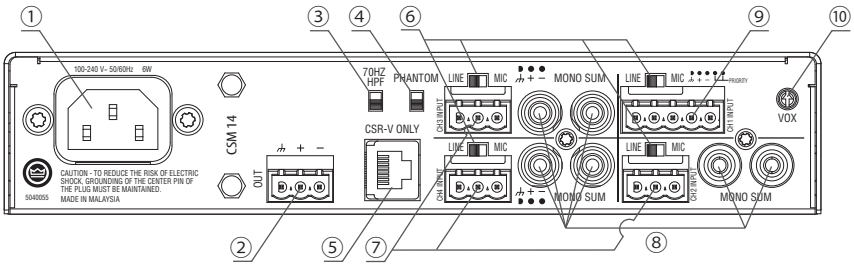
⑦電源スイッチ

電源をON/OFFします。

⑧電源インジケーター

電源のON/OFFを検知し、電源スイッチの周囲全体が、OFFの時は緑色に、ONの時は青色に点灯します。

背面パネル(CSM 14)



①電源端子

付属の電源コードを接続します。

②ライン出力端子

ユーロブロックのライン出力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してパワーアンプと接続します。

③70HZ HPFスイッチ

ライン出力端子に送る信号に70Hzのハイパスフィルターを適用します。適用する場合は、スイッチを上にしてONにしてください。

備考 • 70HZ HPFスイッチをONにすると、パワーアンプとスピーカーをハイ･インピーダンスで接続する際のスピーカー･トランスの飽和を防ぐことができます。

④PHANTOMスイッチ

マイク/ライン入力端子に、+27Vのファンタム電源を供給します。コンデンサー型マイクロホンを接続する場合は、スイッチを上にしてONにしてください。ONにすると全てのチャンネルのマイク/ライン入力端子にファンタム電源が供給されます。

⚠注意 • アンバランスの信号や、電源内蔵のコンデンサー型マイクロホン、ダイレクト･ボックスをマイク/ライン入力端子に接続する場合は、必ずファンタム電源をOFFにしてください。接続した機器の故障の原因となります。

⑤リモート端子

RJ-45のリモート端子です。CAT5ケーブルを使用してオプションのリモートコントローラー「CSR-V」を接続します。CSR-Vを使用すれば、本体に触れることなく離れた場所から出力レベルの操作ができます。

備考 • リモート端子とリモートコントローラー「CSR-V」を接続するCAT5ケーブルの最大長は約300mです。

⑥LINE/MIC切替スイッチ

マイク/ライン入力端子に接続する機器に応じて、入力可能な信号のレベルをラインレベル（LINE）またはマイクレベル（MIC）に切り替えます。ワイヤレスシステムの受信機やミキサー等を接続する場合はLINEに、マイクロホンを接続する場合はMICにしてください。

⑦マイク/ライン入力端子（チャンネル2～4）

バランス仕様ユーロブロックのマイク/ライン入力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー等を接続します。

⚠注意 • 1つのチャンネルで、マイク/ライン入力端子とライン入力端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。

備考 • 接続する機器の出力信号レベルに応じて、LINE/MIC切替スイッチを切り替えてください。

⑧ライン入力端子

アンバランス仕様RCAのライン入力端子です。ライン･ケーブルを使用して各種再生機器等を接続します。ライン入力端子に入力されたステレオ信号はモノラルにミックスされます。

⚠注意 • 1つのチャンネルで、マイク/ライン入力端子とライン入力端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。

⑨マイク/ライン入力端子（チャンネル1）

バランス仕様ユーロブロックのマイク/ライン入力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー等を接続します。
チャンネル1にはダッキング機能が搭載されており、チャンネル1に信号が入力されると、その他のチャンネルの音量を下げ、終了するとスムーズに元の音量に戻すことができます。また、チャンネル1のマイク/ライン入力端子は5ピンで、右端から1本目と2本目のピン（PRIORITY）を接続すれば、他のチャンネルの信号をミュートすることも可能です。外部スイッチを接続すれば、ミュートスイッチとして使うこともできます。

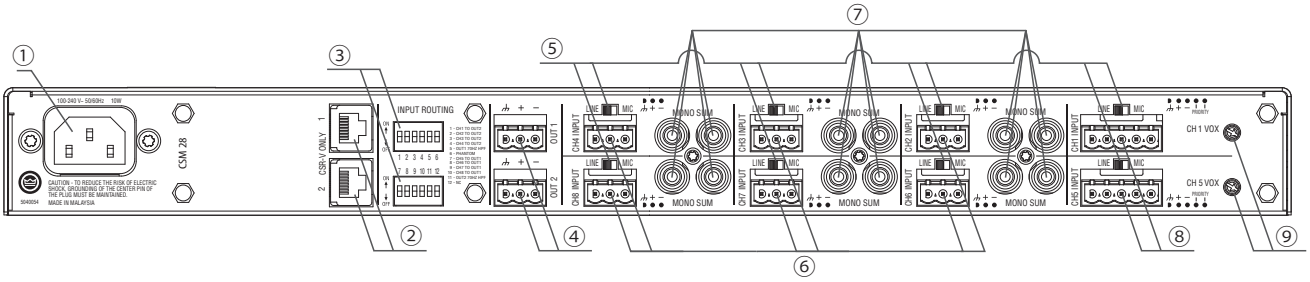
備考 • 接続する機器の出力信号レベルに応じて、LINE/MIC切替スイッチを切り替えてください。
• ダッキング機能のON/OFFや動作設定はVOX半固定ロータリースイッチで行います。

⑩VOX半固定ロータリースイッチ

チャンネル1のダッキング機能の設定を行います。右に回しきりでダッキング機能がOFFになり、そこから左に回していくに従って、より小さな信号がチャンネル1に入力された場合でもダッキング機能が働くようになります。

備考 • 誤操作防止のため、スイッチは奥まった場所に取り付けられています。小型のマイナスドライバーを使って回転させてください。

背面パネル（CSM 28）



①電源端子

付属の電源コードを接続します。

②リモート端子

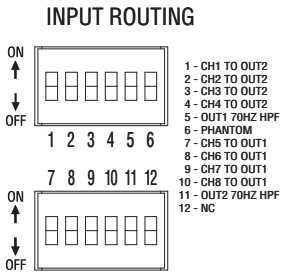
RJ-45のリモート端子です。CAT5ケーブルを使用してオプションのリモートコントローラー「CSR-V」を接続します。CSR-Vを使用すれば、本体に触れることなく離れた場所から出力レベルの操作ができます。

備考 • リモート端子とリモートコントローラー「CSR-V」を接続するCAT5ケーブルの最大長は約300mです。

③DIPスイッチ

入力信号のルーティングや各機能のON/OFFを行います。各スイッチを上にしてONにした時の動作は以下の通りです。

1 - CH1 TO OUT2：チャンネル1の信号をライン1出力端子に加えてライン2出力端子にも出力します。
2 - CH2 TO OUT2：チャンネル2の信号をライン1出力端子に加えてライン2出力端子にも出力します。
3 - CH3 TO OUT2：チャンネル3の信号をライン1出力端子に加えてライン2出力端子にも出力します。
4 - CH4 TO OUT2：チャンネル4の信号をライン1出力端子に加えてライン2出力端子にも出力します。
5 - OUT1 70HZ HPF：ライン1出力端子に送る信号に70Hzのハイパスフィルターを適用します。
6 - PHANTOM：全てのマイク/ライン入力端子に、+27Vのファンタム電源を供給します。
7 - CH5 TO OUT1：チャンネル5の信号をライン2出力端子に加えてライン1出力端子にも出力します。
8 - CH6 TO OUT1：チャンネル6の信号をライン2出力端子に加えてライン1出力端子にも出力します。
9 - CH7 TO OUT1：チャンネル7の信号をライン2出力端子に加えてライン1出力端子にも出力します。
10 - CH8 TO OUT1：チャンネル8の信号をライン2出力端子に加えてライン1出力端子にも出力します。
11 - OUT2 70HZ HPF：ライン2出力端子に送る信号に70Hzのハイパスフィルターを適用します。
12 - NC：割り当てられている機能はありません。



DIPスイッチ拡大図

⚠注意 • アンバランスの信号や、電源内蔵のコンデンサー型マイクロホン、ダイレクト･ボックスをマイク/ライン入力端子に接続する場合は、必ずファンタム電源をOFFにしてください。接続した機器の故障の原因となります。

備考
- 工場出荷時、チャンネル1～4の信号はライン1出力端子からのみ、チャンネル5～8の信号はライン2出力端子からのみ出力されます。DIPスイッチをONにすることで、任意のチャンネルの信号を両方のライン出力端子に出力することができます。
- 70HZ HPFスイッチをONにすると、パワーアンプとスピーカーをハイ･インピーダンスで接続する際のスピーカー･トランスの飽和を防ぐことができます。
- コンデンサー型マイクロホンを接続する場合は、PHANTOMスイッチをONにしてください。ONにすると全てのチャンネルのマイク/ライン入力端子にファンタム電源が供給されます。

④ライン出力端子

ユーロブロックのライン出力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してパワーアンプと接続します。

⑤LINE/MIC切替スイッチ

マイク/ライン入力端子に接続する機器に応じて、入力可能な信号のレベルをラインレベル（LINE）またはマイクレベル（MIC）に切り替えます。ワイヤレスシステムの受信機やミキサー等を接続する場合はLINEに、マイクロホンを接続する場合はMICにしてください。

⑥マイク/ライン入力端子（チャンネル2〜4/6〜8）

バランス仕様ユーロブロックのマイク/ライン入力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー等を接続します。

⚠注意 • 1つのチャンネルで、マイク/ライン入力端子とライン入力端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。

備考 • 接続する機器の出力信号レベルに応じて、LINE/MIC切替スイッチを切り替えてください。

⑦ライン入力端子

アンバランス仕様RCAのライン入力端子です。ライン･ケーブルを使用して各種再生機器等を接続します。ライン入力端子に入力されたステレオ信号はモノラルにミックスされます。

⚠注意 • 1つのチャンネルで、マイク/ライン入力端子とライン入力端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。

⑧マイク/ライン入力端子（チャンネル1/5）

バランス仕様ユーロブロックのマイク/ライン入力端子です。マイク/ライン･ケーブルを使用してマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー等を接続します。
チャンネル1/5にはダッキング機能が搭載されており、チャンネル1/5に信号が入力されると、その他のチャンネルの音量を下げ、終了するとスムーズに元の音量に戻すことができます。また、チャンネル1/5のマイク/ライン入力端子は5ピンで、右端から1本目と2本目のピン（PRIORITY）を接続すれば、他のチャンネルの信号をミュートすることも可能です。外部スイッチを接続すれば、ミュートスイッチとして使うこともできます。

備考
- 接続する機器の出力信号レベルに応じて、LINE/MIC切替スイッチを切り替えてください。
- ダッキング機能のON/OFFや動作設定はVOX半固定ロータリースイッチで行います。
- チャンネル1のダッキング機能がONの時、もしくはチャンネル1のマイク/ライン入力端子の右端から1本目と2本目のピン（PRIORITY）を接続している時に、DIPスイッチ1をONにしてチャンネル1をライン2出力端子にルーティングすると、チャンネル1の信号はライン2出力端子に他の信号よりも優先して出力されます。チャンネル5のダッキング機能がONの時、もしくはチャンネル5のマイク/ライン入力端子の右端から1本目と2本目のピン（PRIORITY）を接続している時に、DIPスイッチ7をONにしてチャンネル5に信号を入力しても、ライン1出力端子から優先して出力はされません。

⑨VOX半固定ロータリースイッチ

チャンネル1/5のダッキング機能の設定を行います。右に回しきりでダッキング機能がOFFになり、そこから左に回していくに従って、より小さな信号がチャンネル1/5に入力された場合でもダッキング機能が働くようになります。

備考 • 誤操作防止のため、スイッチは奥まった場所に取り付けられています。小型のマイナスドライバーを使って回転させてください。

設置

ここでは、本機の設置方法について説明します。台に置く場合は、付属のゴム足を底面の四隅に付けてください。ラックマウントする場合は、付属のラックマウント金具を使用して以下のように取り付けます。

⚠注意
- 設置作業をする前に本機から全てのケーブルを外してください。
- 機器の重さに耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、落下防止のため全てのねじをしっかりと固定してください。

本機には以下のラックマウント金具と取り付けねじが付属しています。

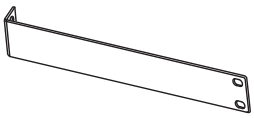
CSM 14

■ フロントアングルブラケット　■ フラットブラケット　■ ラックマウントねじ×5
■ ロングアングルブラケット　■ 金具固定ねじ×10

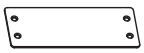
CSM 28

■ フロントアングルブラケット×2　■ 金具固定ねじ×8　■ ラックマウントねじ×5

フロントアングルブラケット



ロングアングルブラケット



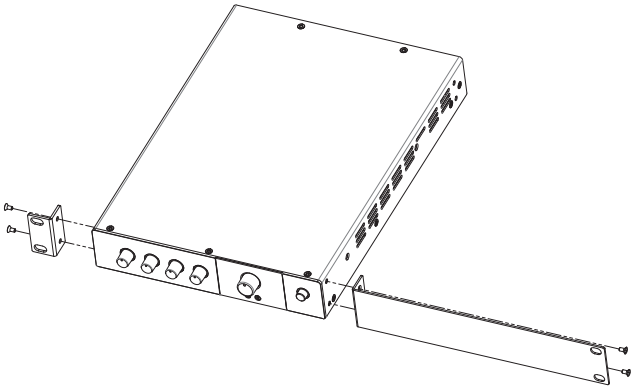
フラットブラケット

CSM 14 1台をEIA 1Uのスペースにラックマウントする

① 前面パネル側の左右どちらかの側面に、フロントアングルブラケットを金具固定ねじで取り付けます。

② フロントアングルブラケットを取り付けた反対側の側面に、ロングアングルブラケットを金具固定ねじで取り付けます。

③ ラックマウントねじでラックに設置します。



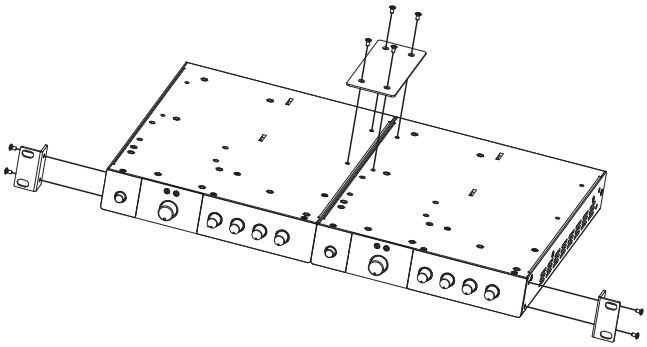
CSM 14を2台連結してEIA 1Uのスペースにラックマウントする

① ラックマウントした状態になるように2台を横に並べて、それを裏向きにします。

② 背面パネル側の底面に、フラットブラケットを金具固定ねじで取り付けて、2台を連結します。

③ 接続した2台の前面パネル側の左右両側面に、フロントアングルブラケットを金具固定ねじで取り付けます。

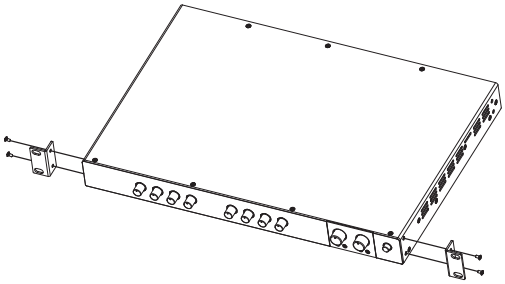
④ ラックマウントねじでラックに設置します。



CSM 28 1台をEIA 1Uのスペースにラックマウントする

① 前面パネル側の左右両側面に、フロントアングルブラケットを金具固定ねじで取り付けます。

② ラックマウントねじでラックに設置します。



セットアップ

ここでは、本機のセットアップの方法について説明します。大きな流れは以下の通りです。

- 入力端子にマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー、各種再生機器等を接続する
  ↓
- ライン出力端子にパワーアンプを接続する
  ↓
- 電源端子に電源コードを接続する
  ↓
- 電源をONにする

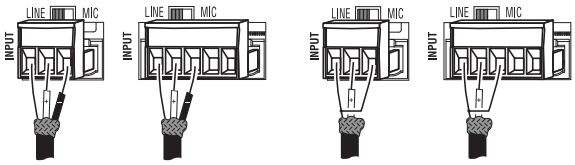
入力端子にマイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー、各種再生機器等を接続する

本機はマイク/ライン入力端子とライン入力端子の2つの端子を装備しています。接続する機器によって以下のように使い分けてください。

⚠注意 • 1つのチャンネルで、マイク/ライン入力端子とライン入力端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。

マイク/ライン入力端子を使用する

マイク/ライン入力端子は、バランス仕様のためノイズに強く、ケーブルを引き伸ばした場合でもクリアな音質を保つことができます。バランス仕様の出力端子を搭載した、マイクロホンやワイヤレスシステムの受信機、ミキサー等を接続する場合はこの端子を使用してください。接続は先バラのマイク/ライン·ケーブルを使用して右図のように行います。アンバランスの信号も入力できますが、その場合は右図のように接続してケーブルの長さを最小限にしてください。また、接続する機器の出力信号レベルに応じて、LINE/MIC切替スイッチを切り替えてください。

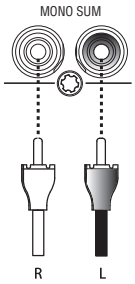


バランスの信号を
入力する場合の接続

アンバランスの信号を
入力する場合の接続

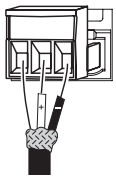
ライン入力端子を使用する

ライン入力端子はCDプレイヤーやDVDプレイヤー等の各種再生機器を直接接続する場合に便利です。RCA端子のライン·ケーブルを使用して右図のように接続します。ライン端子に入力されたステレオ信号はモノラルにミックスされます。



ライン出力端子にパワーアンプを接続する

接続は先バラのマイク/ライン·ケーブルを使用して右図のように行います。パワーアンプとスピーカーをハイ·インピーダンスで接続する際は、70Hzのハイパスフィルターをonにすれば、スピーカー·トランスの飽和を防ぐことができます。



電源端子に電源コードを接続する

電源スイッチがOFFになっているか確認してから、付属の電源コードで電源コンセントと本機の電源端子を接続します。接続すると本機が待機状態となり、電源インジケーターが緑色に点灯します。

⚠注意 • 必ず専用の電源コードを使用してください。また、電源コードは他の機器に使用しないでください。

電源をONにする

前面パネルの電源ON/OFFスイッチを押すと、電源がONになります。電源を入れるときは、以下の手順に従ってください。

1. 入力端子に接続した機器の音量を最小にします。
2. 入力レベル調整つまみ、出力レベル調整つまみを全て最小にします。
3. 電源ON/OFFスイッチをONにします。スイッチの周囲全体が緑色から青色の点灯に変わります。

トラブルシューティング

以下は、通常発生する可能性のあるトラブルの症状とその対策です。
解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源スイッチがOFFの時に、電源インジケーターが緑色に点灯しない。

- 電源コードが正しく接続されていない可能性があります。確認してください。

電源インジケーターが青色に点灯しているのに音が出ない。

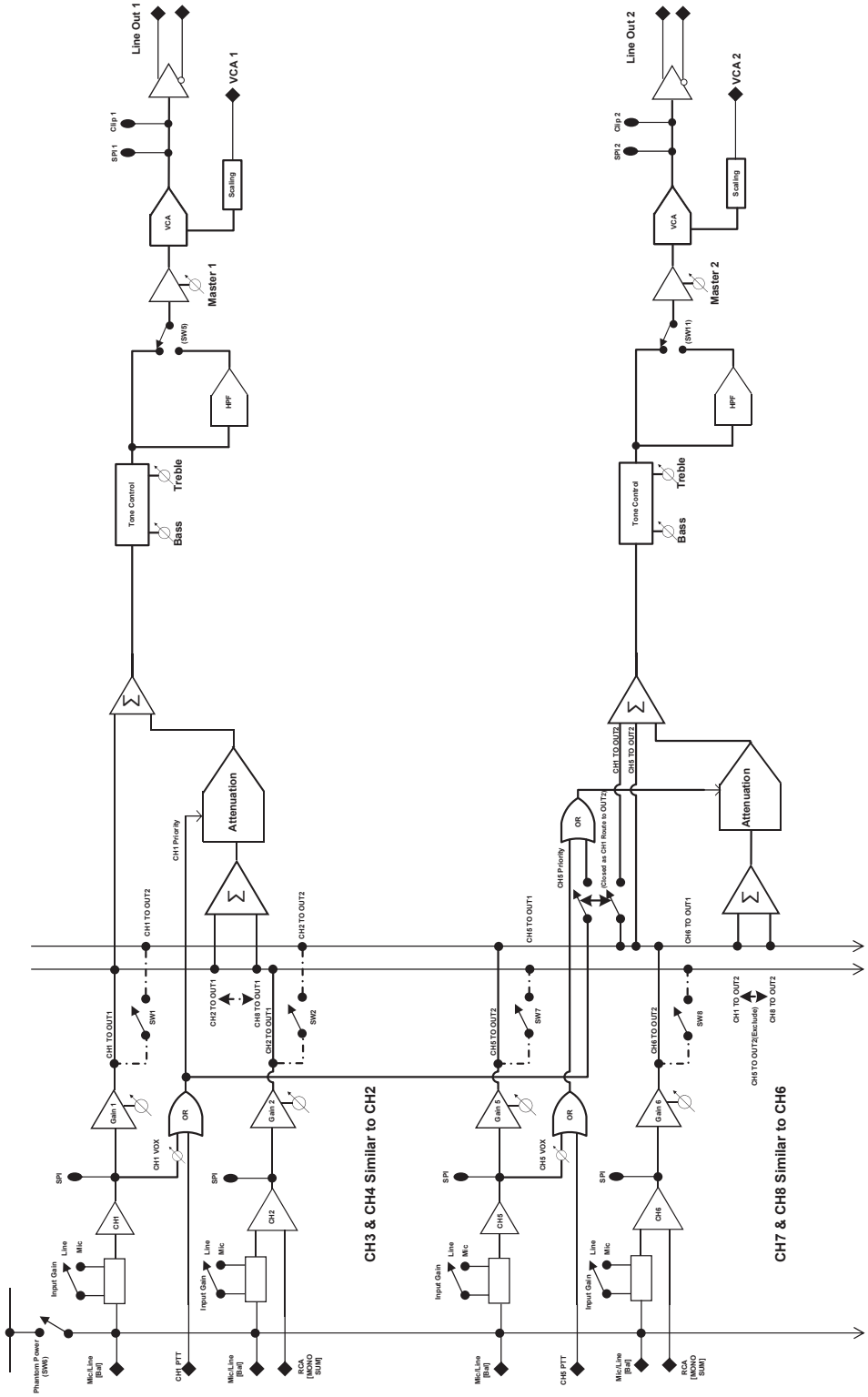
- マイクロホン等の入力機器が正しく接続されていないか、信号が入力されていない可能性があります。入力機器の接続や音量を確認してください。
- 入力レベル調整つまみや出力レベル調整つまみの設定が低過ぎたり、マイク/ライン入力端子にマイクレベルの信号を入力しているのに、LINE/MIC切替スイッチがLINEになっている可能性があります。確認してください。
- パワーアンプやスピーカーが正しく接続されていないか、パワーアンプの音量が低過ぎる可能性があります。接続や音量を確認してください。
- 5ピンのマイク/ライン入力端子（CSM 14のチャンネル1、CSM 28のチャンネル1/5）のダッキング機能がONになっているか、5ピンの端子の右端から1本目と2本目のピンが接続され、その他の信号がミュートされている可能性があります。確認してください。

音が歪む。出力インジケーターが赤く点灯している。

- 入力レベル調整つまみや出力レベル調整つまみの設定が高過ぎたり、マイク/ライン入力端子にラインレベルの信号を入力しているのに、LINE/MIC切替スイッチがMICになっている可能性があります。確認してください。

ブロックダイアグラム

※下図のブロックダイアグラムはCSM 28のものです。CSM 14とは異なります。



仕様

		CSM 14	CSM 28
入力	チャンネル数	4	8
	端子･形式	ch1:ユーロブロック(バランス) ch2～4:ユーロブロック(バランス)、 RCA(アンバランス)	ch1/5:ユーロブロック(バランス) ch2～4/6～8:ユーロブロック(バランス)、 RCA(アンバランス)
	インピーダンス	ユーロブロック:400Ω(マイク)、20kΩ(ライン)、RCA:50kΩ	
	ファンタム電源	27V(ユーロブロックのみ)	
出力	チャンネル数	1	2
	端子	ユーロブロック	
周波数特性		±1dB(20Hz～20kHz)	
SN比		90dB以上(Aウェイト)	
THD		0.05%	
インジケーター		Signal(入力/出力)、Clip(出力)、Power	
電源		AC100V、50/60Hz	
消費電力		6W	10W
寸法(W×H×D)		218×45×304mm(除突起部)	437×45×304mm(除突起部)
質量		2.0kg	3.5kg
付属品		3ピン･ユーロブロックコネクター×4、 5ピン･ユーロブロックコネクター、 フロントアングルブラケット、ロングアングルブラケット、 フラットブラケット、金具固定ねじ×10、 ラックマウントねじ×5、ゴム足×4(1シート)、 電源コード、和文取扱説明書	3ピン･ユーロブロックコネクター×8、 5ピン･ユーロブロックコネクター×2、 フロントアングルブラケット×2、金具固定ねじ×8、 ラックマウントねじ×5、ゴム足×4(1シート)、 電源コード、和文取扱説明書

この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

HIBINO

http://www.hibino.co.jp/
E-mail:proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL:03-5783-3110　FAX:03-5783-3111

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL:06-6339-3890　FAX:06-6339-3891

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL:092-611-5500　FAX:092-611-5509

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL:011-640-6770　FAX:011-640-6776

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL:052-589-2712　FAX:052-589-2719